

DATA FILE



三斜晶系

名 前	SUNSTONE (サンストーン) / 日長石
化学組成	(Na,Ca)[Al(Si,Al) ₃ O ₈] ※微量のFe ₂ O ₃ を含む
色	黄金色、赤褐色
光 沢	ガラス光沢
蛍 光	なし
条 痕	白色
劈 開	完全
断 口	不規則
硬 度	6 ~ 6.5
比 重	2.6

にっ ちょう せき

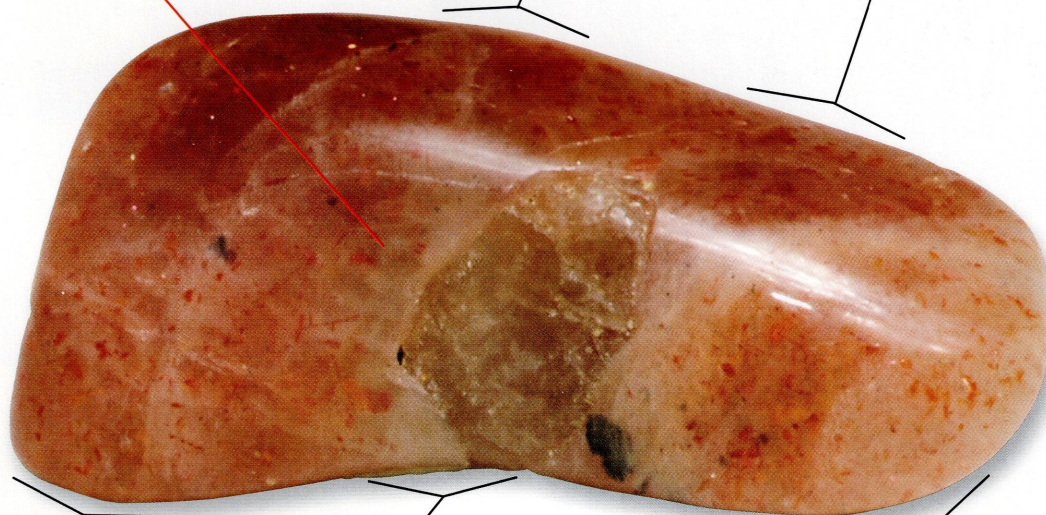
日長石

SUNSTONE

灰曹長石の一種で、結晶内に包有物を含み閃光を発するものを「日長石」という。

黄金色や赤褐色で、ガラスのような光沢を持つ。

インドで産出した日長石。中心の透明に見える部分は純粋な灰曹長石。



素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

造岩鉱物のひとつとして、火成岩や変成岩中に形成される。

劈開は完全で、ハンマーでたたくと不規則な断口を示す。

灰曹長石の一種

ナトリウムとカルシウムの含有量によって分類される長石のなかで、灰曹長石はナトリウムを多く含む曹長石側に位置している。灰曹長石はその成分中の70%未満が曹長石成分で、30%以上が灰長石成分である。灰曹長石のなかで、黄金色や赤褐色の結晶が光を反射して独特のきらめきを生じているのが日長石だ。日長石は、造岩鉱物のひとつとして火成岩や変成岩中に生成し、質の良いものは鮮やかな色合いときらめきを活かすためにカボション・カットが施される。なお、日長石はもろくて割れやすく、熱に弱い性質を持つ。

二 日長石



▲閃光を発する日長石。見る角度によって輝きがあらわれる。

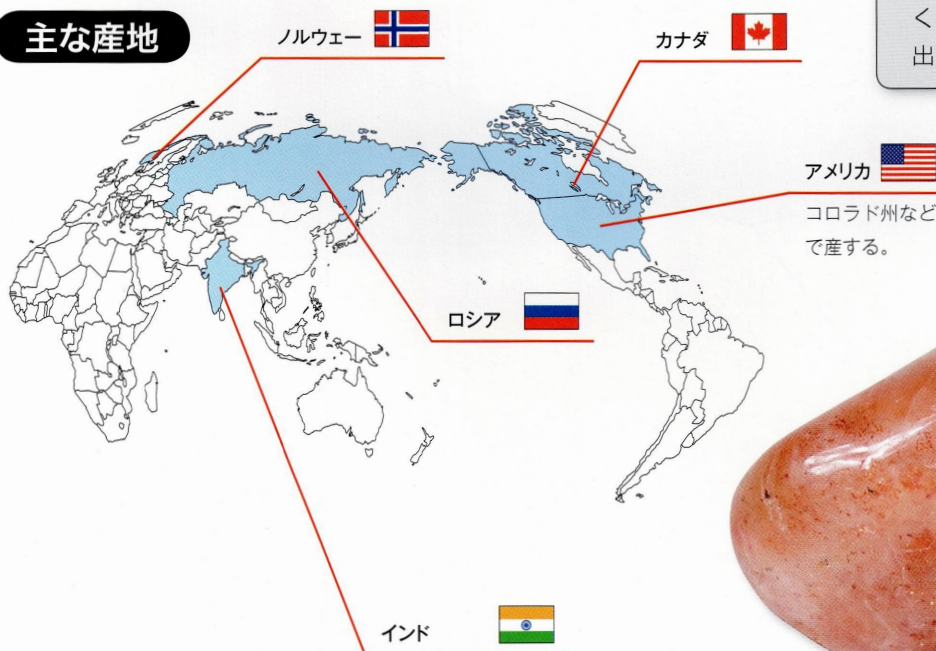
▼表面にわずかに見えるきらめきが日長石の特徴。



きらめきの成分

日長石の内部には赤鉄鉱や自然銅、針鉄鉱などの微結晶が含まれており、これらの微結晶が一定の方位で配列しているため、入ってくる光が反射してきらめくような輝きを生み出す。この現象は「閃光」と呼ばれている。

主な産地



▼インド産の日長石。

